

サンシルバー市川だより

あけましておめでとございます。昨年は、コロナに始まり、コロナで終わった1年でした。不安な状況はまだ解消されていませんが、無事に新年を迎えられたことを職員の間も嬉しく思っていることと思います。

不安の多い毎日だからこそ、日々の些細なできごとに幸せを感じられる瞬間もあります。1月は、ご利用者様とかるたや福笑い、トランプなどのお正月遊びで楽しいひと時を過ごしていきます。

新型コロナウイルスの感染拡大が止まらない今、危機感を共有し、誰しもが無症状の感染者の可能性を意識し、自分の周りにいる全ての人を守る行動をとっていきます。



【コロナ予防対策強化事項】

- 不要不急の外出は避ける
- 会話の際には、いつでもマスクをつけて
- 会食も身近な少人数で、「静かなマスク会食」
- 家庭内感染を避ける工夫をする
- 3密回避を徹底する
- マスク、手洗いを徹底する
- 体調不良時は出勤しない

その他

令和2年12月23日 施設長



●日本看護管理学会より声明文



国民の皆さま、ナースが危機を迎えています。コロナウイルスに感染した患者さんの最も近くにいるのはナースです。この長期戦の中、ナースは身も心も疲弊してきています。私たちは自分の仕事を全うするだけです。感謝の言葉は要りません。ただ看護に専念させてほしいのです。



- 皆々には、ご自分の健康と医療現場を守るため、なお一層の慎重な活動をしていただきたい。
- 医療専門職として感染予防には留意しております。私たちが偏見の目で見られることはやめていただきたい。(日本看護管理学会より抜粋)
- 医療従事者の皆様の悲痛な叫びを受け止めて、介護老人保健施設の職員として、感染予防策をしっかり行っていきます。

●危険の予測できていますか



自分が今この場を離れたら、目を離したら、ご利用者様がどのような行動をとるかを予測し、事故を未然に防いでいきましょう。そのためには、一人ひとりのご利用者様の身体状況をきちんと把握しておくことが大切です。ほんの少しの不注意と確認不足が大きな事故に繋がります。危険の予測をし、情報を共有し、防げる事故を防いでいきます。

●誤嚥予防でおいしく安全に



食べ物を飲み込む時に、誤って気管に入ってしまうことを誤嚥と言います。この誤嚥によって起こるのが誤嚥性肺炎で、食べ物や唾液と一緒に細菌が気管から入り込んでしまうことが原因です。誤嚥性肺炎は日本人の死因の第7位です。食事介助を必要とされるご利用者様が各階に増えています。誤嚥を未然に防ぐ努力をしていきます。

◎食事介助・口腔ケアのポイント



- 飲みこみやすい姿勢での食事
- 椅子の場合、両足は床につけ、膝は90度少し前かがみ、麻痺や体調にも配慮するベッドの場合、背もたれは30度～60度
- 食べやすい食事形態と適切な一口量
- 食事の速度はご利用者様のペースで！
- 丁寧な口腔ケアで細菌除去
- 噛む力と飲み込む力の向上
- 唾液の分泌促進で口腔乾燥を防ぐ
- 毎日、リハビリ体操や早口言葉、歌と併せて行っていますが、楽しみながら誤嚥予防ができるよう工夫を続けていきます。



◎食事前のパタカラ体操の重要性

一陽来復、冬が終わって春が来る、今年はその年であってほしいと思います。コロナが去って平凡な日常が戻ってくることを心から祈ります。介護部長

編集後記